



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 東  
 コード番号 6932 URL https://www.endo-lighting.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 邦彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 中村 嘉宏 (TEL) 06-6267-7095  
 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,860	△3.7	1,027	△15.3	965	△31.6	699	△34.8
2019年3月期第2四半期	19,578	0.2	1,213	△14.8	1,411	3.6	1,073	△17.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △75百万円( -%) 2019年3月期第2四半期 586百万円( △61.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	47.36	—
2019年3月期第2四半期	72.68	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	48,445	20,670	42.7
2019年3月期	50,728	20,967	41.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 20,664百万円 2019年3月期 20,961百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年3月期	—	15.00			
2020年3月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,200	△1.4	2,700	△2.1	2,400	△25.7	1,600	△31.9	108.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 -社(社名)、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	14,776,321株	2019年3月期	14,776,321株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	95株	2019年3月期	95株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	14,776,226株	2019年3月期2Q	14,776,228株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2019年11月22日(金)に証券アナリスト、機関投資家向け説明会を開催します。決算補足説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、失業率が1993年以来の低水準にあるなど雇用・所得環境の改善傾向が持続したことを受けて内需は堅調を維持しましたが、米中の貿易摩擦の高まりにより外需の弱さが顕在化し、全体としては足踏み感が強まりました。10月に消費税増税が実施されたこと、米中貿易摩擦が長期化する懸念が強いこと、Brexitの最終的な枠組みが依然不確定であること、中国経済の拡大ペースが想定以上にスローダウンする可能性があることなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、高付加価値空間創造企業として、高い省エネ性能に加え、顧客価値を創造する光の質を高めた新製品の開発、製造及び販売に注力して参りました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、18,860百万円（前年同四半期比3.7%の減収）となりました。

製造部門における継続した品質改善活動及び原価低減活動並びに全社的な販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、営業利益は1,027百万円（前年同四半期比15.3%の減益）となり、経常利益は965百万円（前年同四半期比31.6%の減益）となりました。

この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は699百万円（前年同四半期比34.8%の減益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### a. 照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、日本全国各都市のショールームを活用し積極的な販売活動を展開することで、業務用LED照明器具分野における高いブランドイメージの確立に努めました。既存照明器具の取り換え需要に加えて、新設の商業施設やオフィス等の大型施設向け需要の取込を目指して積極的に販売活動を推進しました。

国内市場においては、「LEDZ Pro.3」カタログを発刊し、無線照明コントロールシステム「Smart LEDZ」の次世代機である「Smart LEDZ Fit/Fit Plus」及び無線調光調色器具「Tunable LEDZ」の販売促進に注力しました。

海外市場においては、欧州市場を中心に売上は堅調に推移し、アジア市場においては、アジア向け専用カタログ「sync2」を発刊し、現地企業への販売促進に注力しました。

この結果、売上高は16,173百万円（前年同四半期比0.8%の増収）（セグメント間取引含む。以下同じ。）となり、セグメント利益（営業利益。以下同じ。）は、1,348百万円（前年同四半期比14.3%の増益）となりました。

#### b. 環境関連事業

当セグメントにおきましては、消費電力削減だけでなく快適な空間づくりについての総合的な提案活動を強化し、食品スーパーを始めとする流通店舗を中心に販売活動を展開しました。当社グループの提供する高効率LED照明器具の消費電力削減効果及び顧客の商品・サービスにあわせた空間づくりが可能な制御機器が、高い評価を得ましたが、流通店舗向けの需要が一巡したこともあり、レンタル契約実績、機器販売高は対前年同期比で減少しました。

この結果、売上高は3,512百万円（前年同四半期比16.5%の減収）となり、セグメント利益は198百万円（前年同四半期比40.5%の減益）となりました。

#### c. インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、業務用家具に特化したカタログを建築士やインテリアデザイナー等に配布し積極的な販売促進活動を展開するだけでなく、従来の家具に加えて照明器具も合わせた販売促進活動を強化し、東京オリンピックに向けて需要が拡大するホテルやショールームなどの需要の取り込みに注力しました。更なるコストダウン、徹底的な物流合理化を推進することで採算性の向上を図っております。

この結果、売上高は955百万円（前年同四半期比27.3%の減収）となり、セグメント利益は27百万円（前年同四半期比77.9%の減益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、48,445百万円(前連結会計年度末比2,282百万円の減少)となりました。

主な要因は、「現金及び預金」の減少1,610百万円、「受取手形及び売掛金」の減少199百万円及び「有形固定資産」の減少592百万円によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、27,775百万円(前連結会計年度末比1,984百万円の減少)となりました。

主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加387百万円、「有利子負債」の減少2,245百万円及び「賞与引当金」の減少68百万円によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、20,670百万円(前連結会計年度末比297百万円の減少)となりました。

主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上699百万円、「配当金の支払い」による減少221百万円及び「為替換算調整勘定」の減少832百万円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、8,806百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,610百万円減少しました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの増加は、2,218百万円(前年同四半期は3,592百万円の増加)となりました。

主な要因は、増加要因として「税金等調整前四半期純利益」965百万円、「減価償却費」1,566百万円及び「仕入債務の増加」455百万円、減少要因として「たな卸資産の増加」による減少982百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの減少は、988百万円(前年同四半期は1,095百万円の減少)となりました。

主な要因は、「有形固定資産の取得による支出」988百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの減少は、2,490百万円(前年同四半期は501百万円の減少)となりました。

主な要因は、増加要因として「長期借入れによる収入」1,300百万円、減少要因として「短期借入金の純増減額」550百万円、「長期借入金の返済による支出」2,918百万円及び「配当金の支払額」222百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月26日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,416	8,806
受取手形及び売掛金	6,546	6,346
商品及び製品	6,734	7,606
仕掛品	198	190
原材料及び貯蔵品	1,357	1,328
その他	1,629	1,155
貸倒引当金	△118	△106
流動資産合計	26,764	25,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,092	9,038
減価償却累計額	△3,618	△3,762
建物及び構築物(純額)	5,473	5,276
機械装置及び運搬具	2,918	2,941
減価償却累計額	△2,283	△2,361
機械装置及び運搬具(純額)	635	579
レンタル資産	13,433	13,612
減価償却累計額	△6,420	△6,940
レンタル資産(純額)	7,012	6,671
土地	3,505	3,503
リース資産	1,127	925
減価償却累計額	△663	△526
リース資産(純額)	464	399
建設仮勘定	276	360
その他	3,101	3,074
減価償却累計額	△2,646	△2,636
その他(純額)	455	438
有形固定資産合計	17,821	17,229
無形固定資産		
ソフトウェア	285	378
のれん	2,812	2,515
その他	178	86
無形固定資産合計	3,276	2,980
投資その他の資産		
投資有価証券	175	174
繰延税金資産	758	833
関係会社株式	22	21
退職給付に係る資産	42	66
その他	1,950	1,896
貸倒引当金	△84	△84
投資その他の資産合計	2,865	2,907
固定資産合計	23,964	23,117
資産合計	50,728	48,445

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,975	3,362
短期借入金	3,300	2,750
1年内償還予定の社債	140	140
1年内返済予定の長期借入金	5,284	4,855
リース債務	177	169
未払法人税等	164	387
賞与引当金	513	445
役員賞与引当金	73	44
製品保証引当金	646	570
その他	1,693	1,667
流動負債合計	14,968	14,392
固定負債		
社債	70	—
長期借入金	12,003	10,814
リース債務	476	405
繰延税金負債	775	797
役員退職慰労引当金	461	404
退職給付に係る負債	162	173
その他	842	787
固定負債合計	14,791	13,382
負債合計	29,760	27,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,155	5,155
資本剰余金	5,539	5,539
利益剰余金	10,374	10,852
自己株式	△0	△0
株主資本合計	21,069	21,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	22
繰延ヘッジ損益	△5	54
為替換算調整勘定	△100	△932
退職給付に係る調整累計額	△27	△26
その他の包括利益累計額合計	△107	△882
非支配株主持分	5	5
純資産合計	20,967	20,670
負債純資産合計	50,728	48,445

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	19,578	18,860
売上原価	12,397	12,003
売上総利益	7,180	6,856
販売費及び一般管理費	5,967	5,829
営業利益	1,213	1,027
営業外収益		
受取利息及び配当金	52	46
受取賃貸料	48	49
為替差益	329	1
その他	37	48
営業外収益合計	467	145
営業外費用		
支払利息	96	78
売上割引	84	84
その他	87	44
営業外費用合計	268	207
経常利益	1,411	965
特別利益		
固定資産売却益	14	0
特別利益合計	14	0
特別損失		
固定資産除売却損	17	—
特別損失合計	17	—
税金等調整前四半期純利益	1,408	965
法人税、住民税及び事業税	350	338
法人税等調整額	△15	△72
法人税等合計	335	265
四半期純利益	1,073	699
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,073	699



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,073	699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△3
繰延ヘッジ損益	227	59
為替換算調整勘定	△701	△832
退職給付に係る調整額	△4	0
その他の包括利益合計	△487	△775
四半期包括利益	586	△75
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	586	△75
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,408	965
減価償却費	1,645	1,566
のれん償却額	92	88
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	△6
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	△60
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△113	△76
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8	△56
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△29	13
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△3	△23
受取利息及び受取配当金	△52	△46
支払利息	96	78
固定資産除売却損益(△は益)	3	△0
売上債権の増減額(△は増加)	478	53
たな卸資産の増減額(△は増加)	600	△982
仕入債務の増減額(△は減少)	△62	455
未払金の増減額(△は減少)	142	△107
その他	△164	492
小計	4,036	2,351
利息及び配当金の受取額	52	46
利息の支払額	△99	△81
法人税等の支払額	△396	△99
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,592	2,218
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,074	△988
有形固定資産の売却による収入	14	0
無形固定資産の取得による支出	△61	△106
その他	26	105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,095	△988
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,663	△550
長期借入れによる収入	1,550	1,300
長期借入金の返済による支出	△3,715	△2,918
社債の償還による支出	△70	△70
セール・アンド・リースバックによる収入	409	80
リース債務の返済による支出	△116	△110
配当金の支払額	△222	△222
財務活動によるキャッシュ・フロー	△501	△2,490
現金及び現金同等物に係る換算差額	△98	△350
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,897	△1,610
現金及び現金同等物の期首残高	8,915	10,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,813	8,806

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	14,107	4,155	1,314	19,578	19,578
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,930	53	—	1,983	1,983
計	16,037	4,208	1,314	21,561	21,561
セグメント利益	1,180	333	123	1,637	1,637

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,637
セグメント間取引消去	31
未実現利益の調整額	91
全社費用(注)	△546
四半期連結損益計算書の営業利益	1,213

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	14,419	3,484	955	18,860	18,860
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,754	28	—	1,782	1,782
計	16,173	3,512	955	20,642	20,642
セグメント利益	1,348	198	27	1,574	1,574

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,574
セグメント間取引消去	30
未実現利益の調整額	27
全社費用(注)	△605
四半期連結損益計算書の営業利益	1,027

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。